

新年のご挨拶「協創」のキーワードのもと、 新たな学びの場、創造の場を構築 足立区 生涯学習センター所長 平野 昌暁 氏



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。
今年はずもが生涯学習センターを運営させていただいてから、早くも 10 年目となります。
皆様には様々なご協力をいただき、大変感謝しております。委託事業についても、ニーズ
に合った企画を立てていただき、区民の皆様にも大変ご好評をいただいているかと存じま
す。今後におきましては、「協創」のキーワードのもと、さらにご協力、ご支援を賜り、生涯学
習センターとともに新たな学びの場、創造の場を構築できればと考えております。本年が
楽学の会の皆様におかれまして、益々のご活躍とご発展となるよう お祈り申し上げます。

各方面より頂いた年賀状

顧問の先生方 伊藤俊夫、大久保邦子、崎山みゆきの各氏
賛助会員 油井久仁子氏
あだち区民大学塾講師：石崎公子、大淵澄夫、岡部晃彦、櫛原文夫、堀口茉純、大沢正明、
佐々木明、石渡博明、雨間秀浩の各氏
受託事業講師 成田奈緒子氏 交流団体理事長 藤原俊昭氏
生涯学習関連 足立区生涯学習センター、足立区NPO活動支援センター (敬称略)

2018 年に向けて 会員の抱負

新年の抱負 ~ 1 に健康 2 に健康 思いやりを忘れずに ~

新年おめでとうございます。今年も楽学の会の一員として、できる限り 事業に参加して、「絆」を深めて
まいりたいと考えています。それには 1 に健康 2 に健康・・・自分の体と心を育み (はぐみ) 他への思い
やりを忘れずに過ごしたいと思ひます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

今野 君江

2018年 今年の抱負

何と言っても健康です。そのためにメタボ防止体操で「ウェストサイズを 3cm 減らす」を第 1 の目標にしま
す。ただ昨年と同じようなことを言ったような気がしますが・・・永遠のテーマですね。
それから仕事をやめて 2年、お付き合いの範囲も変わってきました。新たな知り合いを増やそうと思ひてい
ます。「出掛ける・人に会う」が第 2 の目標です。面白い新年になりそう

神戸 明

新年に向けて

昨春、楽学の会に入会し少しずつ会のことがわかるようになりました。2年目の今年は、新講座の企画が
なんとかできそうですので、新たなことを経験して積み重ねていきたいと思ひています。先輩方のご指導と
ご協力をよろしくお願いたします。

林 令子

平成 29 年度大学塾第 4 ステージ開催案内

がんのリスク 予防と生活習慣

がんになりにくい生活習慣を行うことで、がんのリスクを下げる事が可能となります。
～そうすることで、がんだけではなく、生活習慣病になりにくい心と身体を作り上げることが学びます。

講師：藤田 亨 氏 皿沼クリニック院長

日時：3月8日、15日 毎回 木曜日 午後2時～4時

会場：足立区生涯学習センター 研修室1

講座テーマ：

第1回 がんという病気の成り立ち ～生活習慣病との関わり～

第2回 今日からでもできる、がん予防法 ～予防法から発展した、最新がん治療法最前線～



著書「生活習慣病征圧術」より

平成 30 年 1 月 新年会報告



平成 30 年の新年会が 1 月 16 日の午後 6 時よりレストラン「さくら」にて開催されました。今年の新年会には生涯学習センターから平野所長、鳥塚副所長、顧問の崎山みゆき様がお忙しい中ご参加いただきました。



まず、福田代表理事より、「楽学の会」は今年で 23 年目、今年の 5 月で NPO 法人設立以来 15 周年を迎えます。

足立区、生涯学習センター、顧問の先生方、講座の講師の皆様へ感謝申し上げます。今後も事業継続に向け、新たな分野に挑戦し、区民に喜ばれる講座を目指してまいります。また、今年度 4 人の女性会員が入会されましたとの挨拶がありました。

引き続き、平野所長より、生涯学習センターも指定管理者として 10 年目を迎えることとなります。

「楽学の会」のこれからの 10 年も更なる活躍を祈念しております。との激励のご挨拶をいただきました。

顧問の崎山様からより深いご支援として、会社のホームページに「楽学の会」をリンク先に設定していただき、さらにフェイスブック等で大学塾の講座を取り上げていただけるとの有難いお話がありました。乾杯のご発声を生涯学習センターの鳥塚副所長にお願いし宴会がスタートしました。

あちらこちらで話の輪が広がり、大変楽しく、有意義な懇親の場になったのではないかと思います。お酒も進み、お腹も満たされ、恒例のカラオケタイムとなり、皆様から次々と自慢の歌が披露されました。最後は女性だけの替え歌の合唱があり、瞬く間に 2 時間が経過し午後 8 時となった所で江川常務理事の一本締めで中締めとさせていただきます。ご参加いただきました皆様本当にありがとうございました。・・・参加者 20 名



(ボランティア活動推進部)

一文部科学省委託事業・学びを通じた地方創生コンファレンスー 学習都市を支える人々のダイアログセッション「東京コンファレンス」 参加報告

日 時：2018年1月21日（日）午前10時～午後5時 東京大学、本郷キャンパスにて

主 催：東京大学大学院教育学研究科

企画・運営：学びを通じた地方創生コンファレンス東京実行委員会（事務局：高井正さん）

参加者：社会教育・生涯学習関係、学校関係、行政職員、ボランティア・NPO関係者、150名参加

趣 旨：東京を中心に生起している都市の諸課題と向き合い、学び合いを通して地域実践を育んできた市民やNPO、社会教育職員、学習支援者、大学関係者等が「オール東京」で集い、先進事例等について協議し、今後の取り組みへの展望を共有し、交流する機会として開催された。

プログラム

1. 基調講演「困難を乗り越え持続可能な社会をつくる～地域と人を豊かにする社会教育の力～」

講師：奥山恵美子さん（前仙台市長）

2017年8月までの2期8年間、仙台市長を務めた奥山さんは生涯学習課長経験者です。

震災復興には膨大な合意形成、理不尽なことに対する合意の積み重ね、が必要だったと語る奥山さんにとって、「学び」とはどのようなものなのか、お話しされました。

社会教育＝地域人材のスクール兼サロン

- ・中庸を得た人材の層をつくる（リーダー＋フォロアーの組み合わせ）
- ・多様な意見（議論）に耐えられる人、リーダーの方向性、フォロアーの重要性で物事は進む
- ・明るい話好きな人（つなぎ手）を増やす、活性化、面白いことが重要である。
- ・80代・90代の人でもできる活動を開拓する（人生100年時代）



2. ダイアログ（対話）「自治×社会教育×地域福祉 持続可能な社会づくり」

奥山恵美子さん、山本健慈さん（国立大学協会専務理事）、牧野篤さん（東京大学大学院教授）

ファシリテーター：桜井高志さん（桜井・法貴グローバル教育研究所）

- ・市民社会における学問の自由、学んで自分が変わってゆく、ワクワクする、楽しい
- ・「学び」は、良いか、悪いか、金になる（経済的効果）か、ではない、評価してはいけない
- ・幸せの実現には「学び」が必要・・・社会教育（生涯学習）が手助けをする。

3. 分科会：第1分科会

「“社教”と“社協”のコーディネーターが会うとき～地域共生への新たな地平を求めて～」

コーディネーターとして求められる専門性や力量を上げていくための「学び」を考える。



事例報告 西東京市ひばりが丘公民館専門員 星野美津子さん、
牧野有美さん複雑かつ多様性の地域課題解決、未来に向けた取り組みなど、他機関や住民団体、市民と「地域との協働・連携」を視点に取り組んできた事例報告事例報告 立川市社会福祉協議会
地域福祉コーディネーター 安藤徹さん（社会福祉士）
地域福祉コーディネーターの活動事例報告「メンズクック砂川」
（男たちの料理教室）

事例報告の後、グループ討議を実施、様々な取り組みと課題について討議しました。

基調講演や分科会で様々な学びの重要性について考える機会となりました。今後の活動の参考としたいと思います。

<参加者：福田哲郎、篠原英也（記）>

みんなの広場

シルクロードのロマンを求め！！ タクラマカン砂漠一周の旅（その2）

次の目的地はカシュガル、敦煌から直線距離で約 1,700 キロ、バスの旅である。新疆ウイグル自治区に入りまず感じたのは、公安警察の検問である。各都市の出入り口部に設けられ、全員車から降り、身分証明書(外国人はパスポート)持参でチェックを受ける。人の移動に神経質になっており、特に地元民の方が厳しく、旅行等の移動には事前に申告して許可が必要であるとの事。少数民族への監視・管理が厳しく、市場・バザールなどに人が集まることを制限しており、時にはバザールが中止となることもあるようだ。また都市内の交差点には、2~3 台の警察車両が常駐しており、ここ 2・3 年で顕著になったようである！！



タクラマカン砂漠

考えていたシルクロードの情緒・ロマンが半減、5~6 年前に来るべきであった！！

とは言え、旅の楽しみは食べること、ウイグルの食物といえば、ラグメン(うどんの元祖)、羊肉の串焼(シシカバブ)、子羊の丸焼、ナン(パン)、果物(ブドウ・スイカ・ウリ・イチジク・クルミ・ザクロ)どれも美味しく、小生には抵抗はありませんでした。大変残念なことは、イスラム圏なのでアルコール類が食堂になかった時が多々あったことです。ただしあまり厳しくはなく、街の商店・酒屋ではいくらでも入手できました。現地では、ビールなど飲物を冷やすという習慣がなく、常温のビールにはガッカリでした(さすがに大きなホテルのレストランには、冷たいビールあり)。



カラクリ湖・ムスターグ峰

カシュガルは、中央アジアと中国を結ぶ要衝として栄え、玉(ギョク、漢人に好まれる貴石)の集積地でもあり、昔から職人街が発達していた。市内からカラコルムハイウェイを走ること 200 キロで、ムスターグ山、コンゲル山(共に標高約 7,600m)に囲まれたカラクリ湖(3,600m.)に到着する。景勝地として名高いのだが、観光写真と比較すると水量が少なく、周りの牧草地も減少しており、湖畔の汚れが目立つ。観光客が多くなったのが原因と思われるが、途中の岩山ばかりの景色には、圧倒された。

動物市場に出かけたとき、急にオートフォーカスが効かなくなり、手動でピントを合わす羽目になった。ここまで、10 日ほどの乾燥地帯滞在で、細かいほこり・砂が悪さをしたようだ。

次の目的地クチャまでは、夜行寝台に乗車したが、8 時間の予定が 2 時間強も遅れて到着、当たり前なのか？ 国営鉄道だからか？ 遅延したことへの案内・お詫びは一切なかった。その代わりではないだろうが乗車する際の手荷物検査は、飛行機搭乗時より厳しく、トランクまで検査された。

クチャは、前漢時代のオアシス都市国家として登場し、10 世紀まで栄えた亀滋(ギジ)国が支配する地で、3 世紀ごろ仏教が伝来しキジル千仏洞が作られた。少数の貴重な絵画は残るものの、塑像はほとんどすべてが破壊されたか、持ち去られてしまった。近郊には他に 2 つほどの千仏洞がある。

玄奘三蔵も訪れた塩水渓谷は、峩々たる岩山で深い谷底に水が流れ、草木一本もなく荒涼とした場所であり、またスバシ故城は玄奘も訪れた当時最大の仏教遺跡で、寺院はクチャ河を挟んで西と東に分かれ、寺院、僧坊、北塔、南塔、石窟など多くの建築物が残り、陶器、鉄器、経典が出土した。



ドラムカム 歌舞演奏

次号へ、その 3 と続きます。
お楽しみください。
(記事・写真 江川武男)

1月 運営委員会報告（1月5日）

1. 代表挨拶：報告および提案

新年あけましておめでとうございます。楽学の会は発足以来23年目に入り、NPO法人設立以来5月で15周年を迎えます。今年も皆様の御協力で事業の拡大に向け進めていきたいと思っております。

さて楽学の会の29年を振り返り、今年の抱負を述べます。

あだち区民大学塾

区民ニーズを反映した講座を企画、提供しており、29年度講座は18講座予定です。特に29年8月には足立区との協創企画の特別講演会「浮世絵で知る「美人画」の魅力」は郷土博物館の浮世絵展と連携し、足立区、足立区教育委員会、郷土博物館、生涯学習センターと楽学の会の5者共催で開催し、多くの受講者があり盛況で受講者より高い評価を頂きました。

また定員を超えた講座が多く、今月開催のNHK大河ドラマ関連講座「西郷隆盛と明治維新」講座も多数の受講申込者があり抽選となりました。延べ受講者100名を超えた講座も8講座でした。これは講座企画のよさが評価いただいたと思っております。今後も会員のネットワークを活かして新規分野の講座を開拓していきましょう。

現在30年度講座を企画中ですが、足立関連講座を提供し、区民の皆様にあだちの魅力を知って頂く様にしていきたいと思っております。また30年度に「生涯学習支援ボランティア養成講座」を大学塾として開催すべく企画中です。平成24年以来6年ぶりに開催し、楽学の会の次の世代の会員を獲得できるようにしていきたいと思っております。

生涯学習センターよりの受託事業

昨年は「心と体の健康講座」シリーズとして「健康心理学」講座、「体内時計と健康」講座の2講座を提供し多数の受講者がありこの分野への関心の高さを感じました。今後も心と体の健康講座のシリーズ講座を企画、提供していきたいと思っております。

生涯学習関連NPO、団体と連携、交流

11月に都内の社会教育主事の方の会「学びのクリエイターになる！」実行委員会との交流会を実施しました。他の区、市との交流会は相互に情報交換ができ大変参考になりました。今後も他団体との交流を深めていき我々のスキルアップに繋げていきたいと考えます。

本年が皆様にとって素晴らしい年になるよう祈念いたします。

2. 議事

(1) 情報交換

- ・「平成29年度地域教育力を高めるボランティアセミナー及び教育研究公開シンポジウム」
3/8 12:30～ 3/9 9:00～ 放送大学東京文京学習センター(茗荷谷) 参加者早坂、篠原
- ・東京コンファレンス 1/21、22 東大、本郷キャンパス 参加者福田、篠原
- ・足立区公式ホームページ「生涯学習サークル情報」への掲載 申請予定

(2) 月例会開催について

- ・1月月例会 1/16 新年会 PM6時～ 於「さくら」
- ・12月忘年会報告 18名参加

(3) あだち区民大学塾（検討会議・企画会議）

- ・「足立の仏師」 12/1 7 応募者 57名 1回 48名 2回 42名 受講者 49名
- ・「ワインの魅力」 12/5 12 応募者 70名 1回 61名 2回 57名 受講者 62名
- ・「西郷隆盛」 1/13 20 27 梅田エルソフィア 応募者 78名 抽選 62名

(4) 受託事業について

- ・「体内時計」請求書センターへ提出

(5) 各部局・PTからの報告および提案（省略）

生涯学習センター 講座情報

講座名：日本の復習 木造建築の礎、
木組みの技と知恵

日時：3月24日 土曜日 午後2時～3時30分
対象：16歳以上の方
会場：生涯学習センター 5階 研修室1
受講料：500円（一律）
定員：50名（事前申込先着順）
講師：谷川 一雄氏（木組み博物館館長）
内容：釘や金具などに頼らず、木の性質を見極めながら、木と木をがっしり組み上げていく日本古来の伝統工法『木組み』の技と職人達の知恵について、名工西岡常一のエピソードを交えながら、実際の木組みを見て、触れて学んでいただく講座です。

講座名：気軽に使える老後のための
財産管理「家族信託制度」を学ぶ

日時：3月22日 木曜日 午前10時30分～正午
対象：16歳以上の方
会場：生涯学習センター 5階 研修室5
受講料：500円（一律）
定員：30名（事前申込先着順）
講師：岡田 文徳氏（家族信託コーディネーター、株式会社ディメテル代表取締役）
内容：自分の老後の生活や介護、相続など財産管理はとても大切です。その財産管理方法の一つとして注目を浴びている家族信託制度について、その内容、成年後見人制度との違いや使い分けなどについて学ぶ講座です。

申し込みは、生涯学習センターへ
電話（03 - 5813 - 3730）または直接窓口へ

3月「月例会」のご案内

楽学の会「月例会」を下記の通り開催します。

開催日：平成30年3月14日（水）
時間：午後3時半～5時
場所：生涯学習センター 5階 研修室4
テーマ：（仮題）

これからの学習支援ボランティアの取り組み

講師：高井 正 氏
立教大学 学校・社会教育講座 特任准教授
（元）足立区教育委員会・社会教育主事
会員の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

（ボランティア活動推進部）

楽学インフォメーション 会合のお知らせ

運営委員会

2月 1日(木) 午後3時～5時 研修室4
月例会
2月14日(水) 午後3時半～5時半 研修室3
学習支援部
2月 7日(水) 午後2時～4時 ワークルーム
ボランティア活動推進部
2月 8日(木) 午後2時～4時 ワークルーム
広報部
2月 6日(火) 午後2時～4時 メール会議
2月23日(金) 午後2時～4時 ワークルーム
2月26日(月) 午後2時～4時 ワークルーム
事務局
2月 2日(金) 午後2時～4時 ワークルーム
2月 6日(火) 午後2時～4時 ワークルーム
大学塾講座検討会議
2月14日(水) 午後2時～3時半 研修室3
大学塾講座企画会議
2月 1日(木) 午後1時半～3時 研修室4
生涯学習センター 休館日
2月19日(月)

お問い合わせ＆ご意見等

「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局 江川武男 電話：090-3105-8140
E-Mail：takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp

「ホームページ」に関するお問合せ
広報部 神戸 明 電話：03-3606-0058
E-Mail：a-kambe@jcom.zaq.ne.jp

編集後記

今年の冬は各地で大雪に見舞われ北陸地方では38豪雪以来とも言われている。東京都心では48年ぶりに氷点下4度を観測。首都圏を襲った大雪の影響で交通機関や物流網が乱れ、日常生活にも大きな影響が出ました。これらも地球環境変動の影響か？。COP21で採択された国際的な気候変動対策への早期取り組みが大いに期待される。



荒川河川敷の積雪の様子（広報部）